

## 品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。



財団法人 建材試験センター  
中央試験所長 黒  
埼玉県草加市稲荷5丁目



試験名称	床合板を介して木造建築用接合金物を使用した接合部の引張試験
依頼者	会社名：株式会社 栗山百造 所在地：新潟県三条市大字井戸場84-9
試験体 (依頼者 提出資料)	<p>1. 接合金物 名称：木造建築用柱仕口金物 商品名：クリ10スリムコーナーⅡ K10SⅡ (床合板仕様) 用途：柱の仕口に使用する金物 (中柱型) 寸法：110×50×30mm, 厚さ2.3mm (図-2参照) 材質：溶融亜鉛-6% アルミニウム-3% マグネシウム合金めっき鋼板 ZAM(MSM-HK400-DA 120)</p> <p>2. 接合具 柱側木ねじ：クリスバリラルビス 7×65, 4本使用 横架材側木ねじ：クリ鍋ビス 7×120, 2本使用</p> <p>3. 使用軸組 柱及び横架材：樹種；すぎ, 寸法；105×105mm 床合板：構造用合板 (JAS1類1級), 厚さ30mm</p> <p>4. 試験体数 7体 (うち1体は予備試験体) 参照：図-1及び図-2 (試験体の形状・寸法)</p>
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計 (監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室, 企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター) の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。
試験結果	<p>耐力算定基礎資料：表-2 短期基準引張耐力(P<sub>0t</sub>)：12.0kN 荷重-変位曲線：図-3及び図-4 破壊状況：写真-1～写真-6</p>
試験期間	平成21年 7月16日
担当者	<p>構造グループ 統括リーダー 高橋 仁 試験責任者 赤城 立也 試験実施者 渡辺 一 上山 耕平 佐島 淳 北村 保之</p>
試験場所	中央試験所